

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

京都大学宇治職員宿舎・宿泊施設合同棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q1 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		3.0	1.00	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.1	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	2.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.3	1.00			3.3
2.1 室温制御		3.0	0.63	3.7	0.50			
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63			
3 外皮性能		3.0	0.38	5.0	0.38			
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.38	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 屋光率		3.0	0.60	3.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
2 屋光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00			3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	告示対象外、F☆☆☆☆を使用する。	4.0	1.00	4.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.60	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					2.9
1 機能性		3.0	0.40	2.4	1.00			2.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.5	0.31	-	-			3.5
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-			
1 耐震性	重要度係数I=1.25	4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	等級2相当、水セメント比55%以下	4.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	参考表より25年評価(コンクリート下地、外装薄塗材E・光触媒)	4.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	配管材は全てG以上、接合方法に一部Eあり	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性		3.0	0.19		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性		3.0	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.60	
1 階高のゆとり				3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.60	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6 バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			0.30			2.0
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.5
LR1 エネルギー			0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制	等級4相当、熱損失係数2.7W/(m ² ・k)、夏期日射取得係数0.041	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.60		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		3.0	0.40		-	3.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	#VALUE!					
集合住宅の評価		3.0				
4 効率的運用						
4.1 モニタリング						
4.2 運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			0.30			3.4
1 水資源保護		3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水	超節水型便器を採用(4.8L)	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・経排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2 経排水等利用システム導入の有無					-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.5	0.63		-	3.5
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	珪藻材、再生砕石、床材:タイル、ビニル系床材、外壁断熱材:吹	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	RC+木製結組+仕上材、RC(GL工法、吹付けウレタン)	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.68		-	
1 消火剤					-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮	標準に対するLCCO2比率79%	3.8	0.33		-	3.8
2 地域環境への配慮		2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	0.33		-	
2 振動		3.0	0.33		-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明の立ち上げに際する光への対策	・照明範囲を適切に設定。・高照明率器具の採用・広告照明なし。	4.0	0.70		-	
2 屋外の建築物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	